

内容は水産研究課ホームページでも公開しています。
更新は、原則として火曜日夜間におこないます。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温

右に、6月13日時点の海況図を示した。

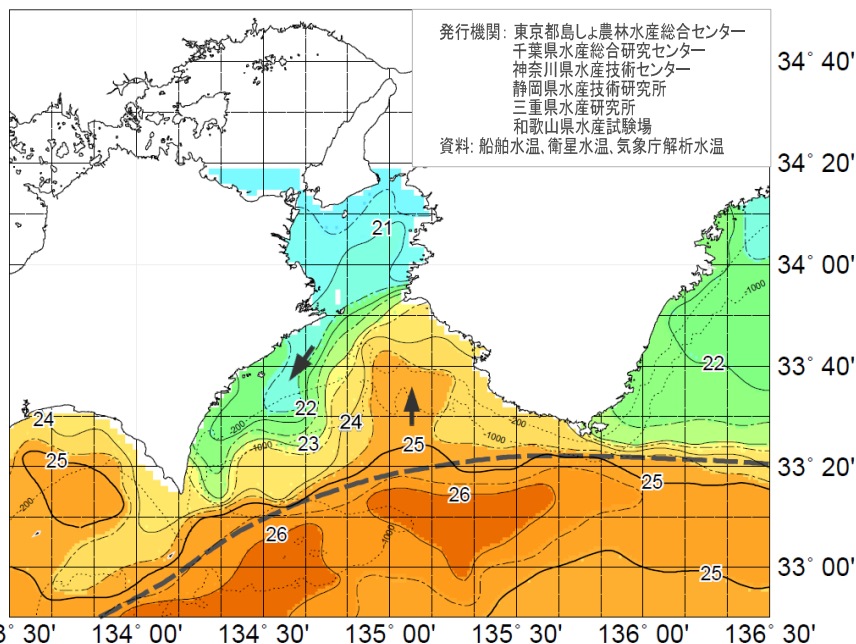
黒潮は、室戸岬沖でやや離岸(前週やや離岸)、潮岬沖で接岸(同接岸)している。

黒潮本流の表面水温は24℃～26℃台である。

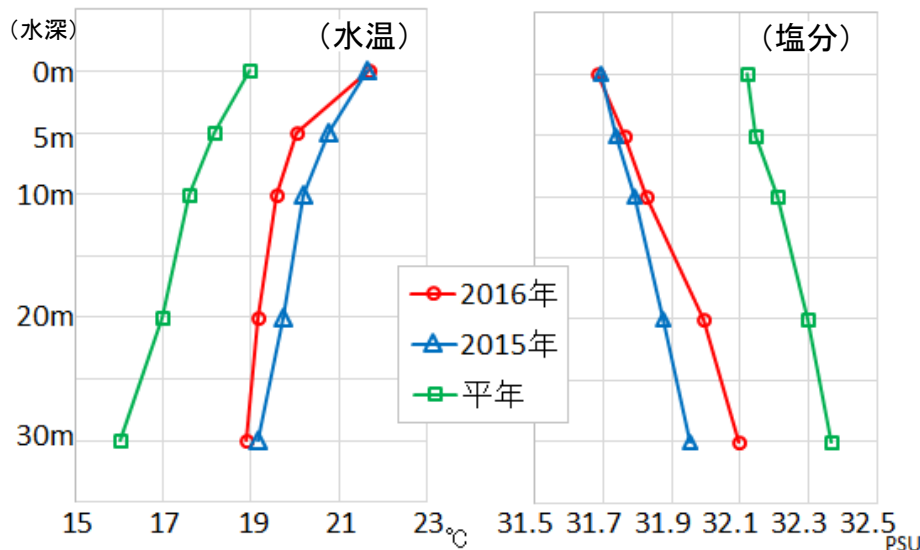
紀伊水道外域では、和歌山沿岸で暖水の入り込みが、海部沿岸で内海系水の南下がそれぞれ見られる。

徳島沿岸の表面水温は、播磨灘、紀伊水道で20℃～21℃台、海部沿岸では21℃～22℃台である。

6月10日に播磨灘でおこなった海洋観測では、水温は全水深で平年より高め、塩分は全水深で平年よりやや低めであった(右下グラフ)。



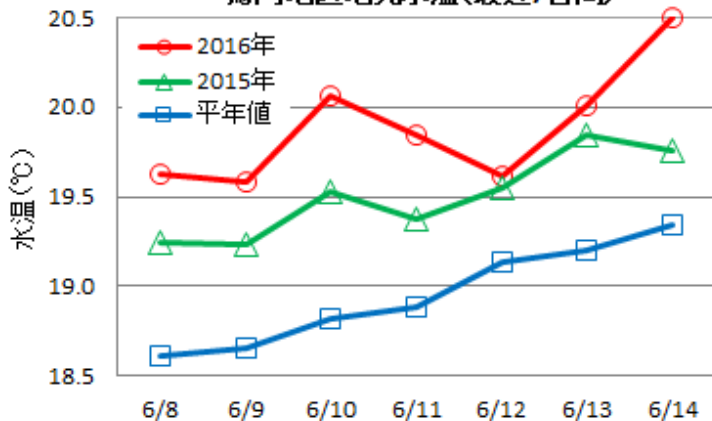
播磨灘の観測結果



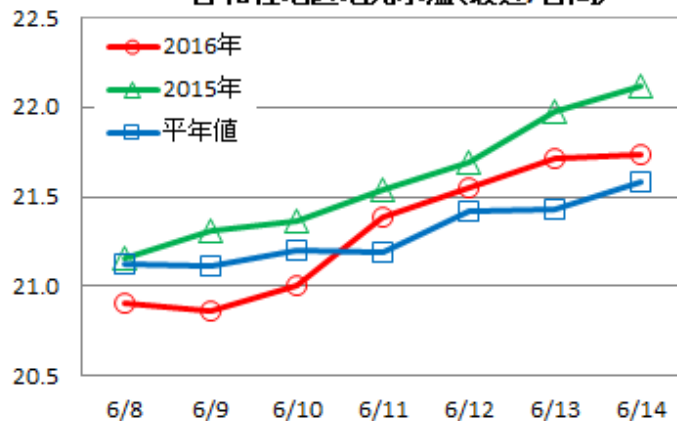
2. 地先水温

最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の19.6℃～20.5℃、日和佐地区は「平年並み」の20.9℃～21.7℃、牟岐地区は「やや低め」～「やや高め」の21.0℃～23.4℃であった。鳴門地区では期間中頃に下がったのち上昇、日和佐地区では期間中頃から上昇した。

鳴門地区地先水温(最近7日間)



日和佐地区地先水温(最近7日間)



3. 週間予報

黒潮は、室戸岬沖で引き続き「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」のち「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の20℃台、日和佐地区は「平年並み」の21℃後半から22℃台前半で推移する見込み。

漁況 6月6日～6月12日

1. 紀伊水道(標本漁協:3)

全体の水揚げは大きく減った。

船びき網では、シラスが大きく減って24.5ト水揚げされた。

釣りでは、イサキが増えて大主体に1.1ト水揚げされた。

延縄では、ハモ、タチウオが増えてそれぞれ7.1ト、2.4ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが小小主体に1.4ト水揚げされた。

底びき網では、ハモ、いとより類が大きく増えてそれぞれ4.5ト、1.1ト水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協:4)

全体の水揚げは減った。

延縄では、アカムツが前週並の0.7ト水揚げされた。

小型定置網では、マイワシが前週並みの2.6ト水揚げされた。

大型定置網では、マルソウダが増えて4.1ト、いわし混ざり、マアジが大きく減ってそれぞれ3.0ト、0.7ト水揚げされた。なお、いわし混ざりは、マイワシが主体で、ほかにキビナゴ、マアジ、他のいわし類などが含まれる。

漁獲量集計表(漁獲量の多いものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比 [※]
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	56	シラス	24,500	438		↓↓
	釣り	35	イサキ	1,108	32	大主体	↗
		80	ハモ	7,113	89	中主体	↗
		79	タチウオ	2,378	30	特大主体	↗
		49	ゴマサバ	360	7	大主体	↗↗
		48	マサバ	298	6	大主体	↗↗
	小型定置網	29	マアジ	1,420	49	小小主体	↗
	底びき網	60	ハモ	4,547	76	中主体	↗↗
		52	いとより類	1,053	20		↗↗
		42	えそ類	522	12		↗↗
		34	マダイ	362	11	大主体	↗↗
		46	ホウボウ	347	8		↗↗
		33	ヒメジ	229	7		↗
海部沿岸	延縄	25	アカムツ	655	26		→
	小型定置網	22	マイワシ	2,578	117		→
		29	ウルメイワシ	482	17		→
		41	マアジ	461	11	小小主体	↗
		30	とびうお類	313	10		↗↗
	大型定置網	6	マルソウダ	4,078	680		↗
			いわし混ざり	3,010	502		↓↓
			マアジ	703	117		↓↓
			マルアジ	667	111		↗↗
			いわし類	510	85		↗↗
		イサキ	450	75		↗	
		とびうお類	406	68	中主体	↗	
	シイラ	232	39	小主体	↗↗		
	ヒラソウダ	208	35	大主体	↓↓		

※ 前週比 200%以上:↗↗、120%~200%:↗、80%~120%:→、50%~80%:↘、前週比50%未満:↓↓